

2015年2月発行

# 安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-awa/index.html>  
 発行:安房農業事務所改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



ほ場巡回で活発に情報交換する受講生達

**カーネーション  
スキルアップ研修を  
開催しています**

農業事務所では、若手カーネーション生産者を対象とした研修を、県花き園芸組合連合会カーネーション部会の後援を受け、今年度から開催しています。

栽培の技術と理論を若手生産者へ継承するため、本研修の講師には栽培技術や切り花の鮮度保持技術等各分野の専門家を迎え、栽培理論を中心とした講座を開催しました。暑い夏や寒い冬等めまぐるしく変わる気象環境に自らの考えで対応できる生産者の育成を目指します。この研修をきっかけに若手の会が結成され、生産者の交流が活発になり始めています。

来年度は栽培理論に加え、販売手法などの研修を予定しています。興味のある方は、当事務所まで御連絡ください。

## 食用ナバナに係る 試験経過について

安房地域は日本一の生産量を誇る食用ナバナの産地です。しかし、播種時期である9〜10月の大雨や台風による被害や、主要病害である根こぶ病の被害によって、収穫量が減少しています。

これらの対策を講じるために本年度取り組んでいる試験の経過についてご紹介します。

### ①移植栽培

大雨等による発芽直後の被害を軽減する目的で、128穴セルトレイを利用し、苗を定植する試験を行っています。

直播区は播種直後の大雨により発芽率は73%に低下しましたが、移植区は大雨後に定植したため被害を受けませんでした。

### ②根こぶ病対策

セルトレイを用いて育苗し、定植前日〜当日に殺菌剤「ラ

ンマンフロアブル」500倍を灌注することで定植後の根こぶ病の被害をどれくらい軽減が可能かを試験しています。

11月時点の調査結果では、無処理区の発病度(※)が93と高いのに対して、処理区は16と低くなっており、高い効果が確認されています(左写真参照)。

いづれも途中経過ですので、今後も継続して調査していきます。



左：ランマンフロアブル処理区 右：無処理区  
※発病度：発病程度を指数化して表現したもの

## 施設花きの 夏季の高温対策

近年の夏季の厳しい暑さの影響で育苗や活着、生育不良等の障害が増加しています。高温対策には遮光資材や循環扇の設置、施設の軒上げ等があります。本号では今話題の細霧冷房を紹介します。

細霧冷房は微細な水滴をノズルから噴霧し、気化熱を利用して施設内の気温を下げます。16ml/分・m<sup>2</sup>の噴霧量で施設内の温度を35℃から30℃程度にまで下げることができ

ます。  
注意点として①水滴径が80マイクロメートル(μm)以下のノズルを使用し、水滴が植物を濡らさないようにする  
②植物体から1m以上離してノズルを設置する③使用する水をろ過し、目詰まりを防止する④水滴が気化するように換気を行う必要があります。

10a当たりの導入経費は150万円からで、ノズルの金額が高くなるほど水滴径を小さくでき、気化しやすくなります。7月〜9月までの使用で電気代は約20.6万円、水量は約300t使用するとこの事例があります。水源によってはサンドフィルター等のろ過装置が必要となります。

頭上灌水に近い水滴径の大きいもの(ミストエース20、プラスフォッガー等)は導入経費が安い反面、ぼた落ちや植物が濡れるため、病害が発生する可能性があります。

細霧冷房を行うことで高温障害を回避できます。また、遮光なしでも夏季の栽培が可能となり、光合成の促進、徒長の防止等品質向上が図れます。細霧冷房は周年での湿度管理にも利用可能です。

# 今がお勧め！ 果樹の接木

果樹栽培を行うために、接木で苗作りや品種更新に挑戦してみませんか。

一般的な手法である「切接ぎ」と「腹接ぎ」の方法、さらに共通する穂木の作り方についてご説明します。

### ○用意するもの

穂木（接ぐ品種）、台木（接がれる品種）、切り出しナイフ、接木テープ、茶封筒、ポリ袋

### ○接木の時期

2月～3月

### ○穂木の作成

穂木には目的とする品種の中庸な枝（節間と太さが適当）を用います。図1のように穂木を調整します。穂木の芽の数は1～2芽程度残します。

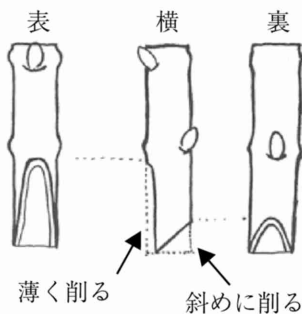


図1 穂木の作成

### ○切接ぎ

切接ぎは苗木作りや高接ぎ等に使われます。台木には直径1cmより太くなった部位を切取ります。

- ①台木の切り込みを入れた部分を斜めに削ります（図2）。
- ②削った部位に切り込みを2度入れて、薄片を取り除きます。
- ③調整した穂木を台木に差し、穂木と台木の形成層を合わせます（図3）。
- ④接木テープで接合面がずれないように固定します。

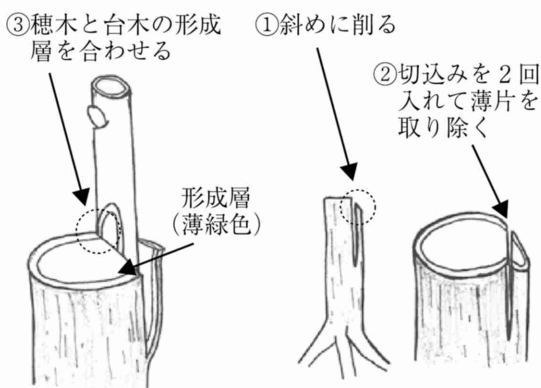


図3 切接ぎ

図2 台木の調整

### ○腹接ぎ

腹接ぎは品種更新等に使用されます。台木は成木樹の枝をそのまま使います。

- ①樹に垂直の切り込みを入れ、上部から切り込み部位に向かって斜めに削りとりします（図4）。
- ②削った部位の下に穂木の太さの切り込みを縦に入れて、樹皮を剥ぎます。
- ③以後、切接ぎ手順③と同様に実施します（図5）。

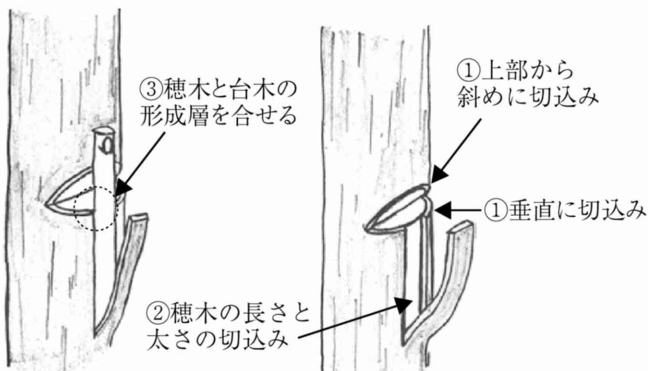


図5 腹接ぎ

図4 台木の調整

### ○ポイント

・穂木は乾燥すると活着しにくくなります。

・台木と穂木の形成層を重ねれば、活着するので、形成層を重ねることがポイントです。

・接木後、切り口から蒸散を防ぐためトップジンMペーストを塗布し、さらに穂木全体をポリ袋と茶封筒で覆い、袋内の保湿と昇温を防ぎます。

・萌芽し接木が成功すれば、その際にポリ袋と茶封筒を剥がします。その後は、枝折れしないように、添え木等をして、大切に育てましょう。

## 注意

登録品種の穂木には種苗法が適用されます。無断で増殖が指摘された場合は、罰金刑が伴うことがあるので取扱にご注意ください。

### 新しく認証された

#### 農業士・ 指導農業士の紹介

農業士は地域農業の推進者として青年農業者を、指導農業士は地域農業の指導的農業者で農業後継者の育成に協力していただける方を知事が認証する制度です。今年度は新たに指導農業士として1名、農業士として2名の方々が認証されました。

#### ★指導農業士

鈴木 良一氏（鋸南町）

カーネーション主体の経営で他には金魚草も生産しています。

JA安房カーネーション部会において共選に取り組み、地域のカーネーションの共同出荷体制の構築に尽力されました。



また、現在は鋸南町農業委員として農業振

興に取り組んでいます。

#### ★農業士

馬賀 仙夫氏（鋸南町）

日本水仙主体の経営で、その他に花菜も栽培しています。また、有害鳥獣駆除も率先して行っており、地域の

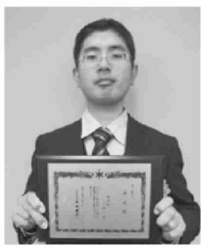


担い手として活躍しています。

#### ★農業士

川崎 一成氏（鋸南町）

カーネーション専作の経営で、徹底した栽培管理を実施し、効率的な生産を行っています。地域の活動も熱心で、



若手のリーダーとして活躍しています。

#### 「農業経営体育成セミナー」

平成27年度  
新規受講者募集中！

本セミナーは安房地域のおおむね35歳までの若手農業者を対象としています。

毎月1〜2回程度の講義や実習、視察研修により、農業に関する知識の習得や技術について3年間かけて学ぶカリキュラムです。

平成26年度は29名の方が、受講しています。

農業に取り組む同世代の間と交流しながら、楽しく学んでみませんか。

平成27年5月下旬の開講に向けて、新規受講者を募集しています。

お問い合わせ・申し込みは安房農業事務所改良普及課へ御連絡ください。

また、お近くの若手農業者の方にも是非お知らせください。

#### 農地賃借の新しい仕組みです

「農地中間管理機構」は、農地を借り受けて、まとまりのある形で貸し付ける公的機関です。機構へ農地を貸し付けると市町から協力が支払われます（要件有）。

詳細は、各市町農政担当課または、公益社団法人千葉県園芸協会農地部（電話043-22313011）までお問い合わせください。

#### 「青年就農給付金」の紹介

45歳未満で農業を始めようとする方に年間150万円を給付します。詳細は、各窓口までお問い合わせください（要件有）。

①就農前に先進農家等で研修する方向け（準備型）

窓口 安房農業事務所企画振興課（電話22-7131）

②自ら農業経営を開始した方向け（経営開始型）

窓口 各市町農政担当課